



「おひさまきらきら えがおいっぱいなんざんようちえん」

南山幼稚園だより

10月号

平成27年9月30日

港区立南山幼稚園

元気いっぱい笑顔いっぱいの親子運動会

10月17日は親子運動会です。子供たちは、毎日、かけっこやリレー、踊りなどを楽しんでいます。

3歳児は、「りんご組さん」と呼ばれることが嬉しくて、いつも元気いっぱいに返事をしています。大好きなりんご組です。そこで、運動会では、「りんご王国に行こう」というストーリーを描いて、踊りやかけっこをします。

4歳児は、園庭や南山の森で見つけたダンゴムシがお気に入りです。ダンゴムシを見つけると、手のひらに乗せて、その動きを楽しんでいました。そこで、ダンゴムシになって踊ります。そして、かけっこは、虫になって野原を駆け抜けるイメージで走ります。

5歳児は、海賊になって踊ります。以前、海賊船を作ってダイナミックに遊んだ体験が、運動会につながっています。今回も、小さな海賊たちがわいわい集まって創り出す踊りが楽しみです。

このように、毎日の生活やこれまでに体験したことから、それぞれの種目のイメージを膨らませ、力いっぱい走ったり、笑顔で踊ったりできるようにしていきたいと思います。そして、子供たちにとって、思いっきり身体を動かすことを心から楽しむ体験となるようにしていきます。

さて、5歳児のリレーでは、子供たちは、勝って嬉しい、負けて悔しいなど様々な感情を味わいます。

ここ数日の練習では、負けて悔しがったり落ち込んでしまったりした子供もいたようですが、様々な感情体験は心の成長につながるチャンスです。子供の気持ちを受け止め、共感し、子供たちが自ら乗り越えて力いっぱい走った喜びを味わうことができるように支援していきたいと思います。

今、5歳児は、速く走るためにはどうしたらよいかを子供たちなりに考え始めました。「横を向いて走っちゃダメだよ。」「いっぱい走れば、速くなるかな。」「速い人と走ると速くなるかな。」など考えたことを取り入れて練習をしています。このように前向きに取り組む姿、友達と声を掛け合う姿、力を合わせる姿などを認め、運動会に向けて気持ちを高めていきたいと思います。

子供たちが、その子なりの力を十分に発揮し、笑顔いっぱいの運動会になることを願っています。保護者の皆様も、お子さんと一緒に思いっきり体を動かすことを心から楽しんでください。

園長 和田 京子

10月のねらい



◎3歳児 りんご組

○いろいろな木の実や葉、生き物を見付けることを楽しみ、秋の自然に親しむ。

トンボや色付いた葉、ドングリなどの木の実などを見付けたり、集めたりして、秋の自然に触れていきます。自然物を使って遊ぶことを楽しみ、秋が感じられるような歌を歌いながら親しんでいきます。

○学級のみんで、かけっこや踊りなど身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

走ったり、踊ったりすることを繰り返しながら、のびのびと身体を動かす心地よさを味わえるようにします。そして、みんなで一緒にやることで、さらに楽しいと思えるように援助しながら、運動会につなげていきます。

◎4歳児 ばら組

○戸外でいろいろな動きに挑戦したり、みんなと一緒に鬼遊びをしたりすることで身体を動かす楽しさを味わう。

運動会を通して、学級の友達と一緒に体を動かすことを楽しんでいきます。運動会後も引き続き、身体を動かすことを楽しんでいけるようにします。年長児の競技や演技に興味をもつ姿を大切にしながら、自分たちなりに取り入れられるようにしていきます。

○遊びの中で思いやイメージを表し、必要となったものを作ったり、作った物で遊んだりすることを楽しむ。

製作や構成遊びが充実できるように、遊びの場を工夫して使っていきます。また、遊びを楽しむために必要となったものを作り、イメージが広がることで動きが活発になり遊べるようにしていきます。

○学級に必要な仕事を友達と一緒に受け持ち、自分たちの生活を進めていこうとする。

昼食時に必要な仕事(お茶のやかんを運ぶ、机を運ぶ、拭く、挨拶する等)をすることが分かり、友達と一緒に喜んで取り組めるようにしていきます。そして、できたことで喜びを感じ、自信につなげていけるようにします。

◎5歳児 さくら組

○親子運動会に向けて取り組む中で、互いの考えや力を出し合い、みんなでやり遂げた満足感を味わう。

取り組みの中で、段々足が速くなっていることや、気持ちを合わせて表現していく姿を幼児に知らせ、力を出して取り組んだことが実感できるようにしていきます。また、係の仕事や準備では、自分の役割を果たす姿や仲間と力を合わせ最後までやりぬく姿が見られるように援助していきます。

○友達と互いの考えを出し合い、遊び方や目的を共通にして遊びをすすめていく。

互いの考えに関心をもって遊びをすすめ、イメージや目的が共通になり、楽しんでいけるようにしていきます。

○身近な秋の自然の変化に気付き、興味、関心をもち関わる。

秋の虫の様子や草花、木の実等に季節の移り変わりを知り、遊びに取り入れながら、興味をもって関われるようにします。また、自然の不思議さを感じ、共感しながら、楽しめるようにしていきます。

南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて

「ていねいに使おう」

